



通路の特徴

日本海の波のうねりや、太平山の山並みをイメージさせる雄大な波形の屋根と、秋田の自然を表現した柱や床が特徴。

コツコツと鳴る木製デッキの足音と、ステンドグラスからさしこむ光のシャワーを楽しみながら歩いていくと、窓越しにけやき並木の景色がみえます。秋田を代表する大通りとして、優しさと楽しさを感じられる通路です。

秋田駅東西を連絡する自由通路の愛称を募集

秋田駅東西連絡自由通路の延長部分(人工地盤)が、7月に完成します。完成すると、駅の東口から駅前の商店街まで、雨、風、雪を気にしないで行き来することができます。

駅の東西をつらぬく、この歩行者の大通りに愛称を募集します。最優秀1点と佳作数点に選ばれたかたには副賞を差し上げます。また、最優秀のかたの名前を通路の床に刻ませていただきます。

応募方法

愛称と簡単な理由、住所、名前、年齢、職業、連絡先を書いて、6月16日(金)(消印有効)まで、〒010-8560 秋田市まちづくり整備室へどうぞ。詳しい応募要領は、市の公共施設、銀行、郵便局にもあります。☎(866)2156
Eメール machidukuri@city.akita.akita.jp
FAX☎(866)2282での申し込みもできます。

● 広告デザインコンペ ●

秋田駅東西連絡自由通路に掲示する広告のデザインコンペを行います。広告業を営まれているかたが対象です。

説明会 4月20日(木)午前10時~
市役所研修棟研修室
まちづくり整備室☎(866)2156

千秋公園に表門が完成

千秋公園では、「表門」が年度内に完成します。また、新たに本丸の桜の樹勢回復に取り組みます。

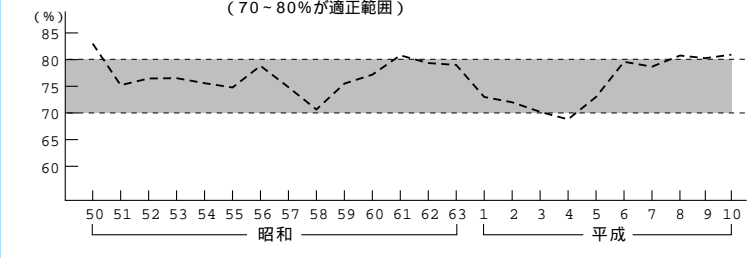
地域に密着した憩いの場として、広面近隣公園や光沼近隣公園、御所野ふれあい地区公園などの整備を継続します。

老朽化の著しい牛島清水町市営住宅の建て替えを継続し、今年度中の一部完成をめざします。

下水道では、引き続き污水管や雨水管などの整備を進めます。下水道普及率は、平成十二年度末で六九・七%(十一年度末現在六七・五%)になる見込みです。

が予定されています。
小回りのきくバスを活用したまちづくり(オムニバスタウン構想)の可能性について調査します。
高規格道路網では、日本海沿岸東北自動車道の早期整備と国道七号秋田南バイパス(旧秋田空港跡地)臨海十字路間の早期完成を引き続き関係機関に働きかけていきます。
南部中央線や飯島金足線、桜本線など幹線道路の整備により、市内交通を円滑にする道路ネットワークの構築に努めます。
JR上飯島駅に自転車などの駐輪場を新たに整備します。

秋田市の経常収支比率の推移
(70~80%が適正範囲)



設や道路建設など都市基盤整備に回せる財源に余裕があり、弾力的な予算が組めることとなります。
一般的に市にあつては70~80%の範囲にあるのが適当とされています。
秋田市は平成十年度で82・0%。前年度に比べ2ポイント増加しました。今後比率を抑えるよう、一層の経費の削減と安定的な税収の確保に努めていく必要があります。